

る持続可能な地域社会を作っていくことは、今を生きる私たちの使命です。

### 梶木 裕文 議員

改選後、初の定例会。新たな委員会体制で議案の審査を行いました。私の所属の厚生建設委員会では、新任議員からの新たな視点での質問が加わり活発な委員会となり、10議案を慎重に審査することができました。また10月に本町幸町交差点で小さなお子様が交通事故で亡くなるという痛ましい事故を受け、議員発議で「児童・生徒の通学路の安全対策の強化を求める決議」が提出され、全会一致で可決されました。二度とこのような事がないように安心・安全な町の実現に向け努めてまいりたいと思います。

### 村上 清司 議員

一般質問において、寺川からの浸透による築堤崩壊を防ぐために越水を遮蔽する必要があるとあり、舗装道路の不備な箇所、築堤の崩壊を防止するため、堤防道路の補強、道路の嵩上げ、舗装の端を補強するなどの対策を求め、広げる歩道や自転車道としての道幅の確保、休憩所の設置を含め交通形態の見直し、奈良県・田原本町それぞれの河川・道路の管理状況について、田原本町の管理者としての務めを再確認い

ました。水防災意識社会再構築ビジョンの考えや、都市計画マスタープランにおける道路の整備方針に基づき、事業を実施しているとの答弁をいただきました。

### 安田 喜代一 議員

「コロナ禍による米価下落対策を求める意見書」に賛成し可決されました。コロナ禍という、かつて経験したことのない危機的事態は災害といっても過言ではありません。米の買取価格は大幅に下落し、地域の農業者からも農業を続けることは限界との声が多く聞かれます。農地の担い手の減少は、耕作放棄地の増加に直結します。水田は雨水を一時的に貯留し水害を防いだり、多様な生き物を育んだりするなど、自然環境の保全の役割を果たしており、農業者だけでなく地域の皆様の生活に広く影響が及ぶものと考え賛成しました。

### 古立 憲昭 議員

幸町交差点での痛ましい交通事故を受けて「児童・生徒の通学路の安全対策の強化を求める決議」を提案し、全員賛成で可決されました。一般質問、①学校給食における食物アレルギーの対応についてを問う。特に食べられないメニューについて給食費徴収の是非を問う。②低出生体

重児の対応についてを問う。低出生体重児用の手帳「リトルベビーハンドブック」の採用を提案。③がん対策についてを問う。特に、本町は胃がん罹患率・死亡率が全国平均以上の観点から、胃がん検診の強化を求めた。

### 西川 六男 議員

築後60年以上の老朽校舎が多いなか、田小・南小に続き平野小でも外壁の一部が落下しました。子どもの安全の為に早急に予算要求し、危険箇所への対応を求めました。

また、少子化を理由に東小+北小+田小の統廃合の素案が住民説明会等で示された事を質すと、2022年度に基本構想を策定し、2023年度以降、実務手続きに入っていきたいとの答弁がありました。1956年の町の合併を教訓に、校区や通学の変更で保護者や子どもにも混乱が起らないように理解と納得を得るための努力をする事、そのための資金を準備する事などを提案しました。

### 竹邑 利文 議員

町議選の投票率はなぜ低いのか、投票率向上に取り組む方向性について、例えば選挙公報の発行、投票所の増設、移動投票車の導入、センキョ割これらの案はどうですかと質した。9月の改選にて5名の議員が我々の同様

議員として誕生し、新たな議会構成となり、町長は相互に抑制し、均衡を保ちながら緊張関係を持って、行政運営を進めると答弁を得た。各自治会が管理する都市公園に関して維持費は妥当な金額が質したところ、協定締結から数10年経過している公園のあり方について地元自治会の負担改善と社会ニーズにあった検討を図ると答弁を得た。

### 吉田 容工 議員

スタジアム建設から、いつの間にか町全体に大きな影響を与えるスーパースティ構想に変わったことを質しました。スーパースティ構想とは、結婚離婚届以外のすべての町のサービススマホやパソコンから手続きできるようにする、窓口を無くす、職員を減らす、デジタル化で個人情報売却して儲けるという構想です。町長は、「開庁時間に合わない方でも対応できるようにする」「個人情報保護は、民間企業や県と連携しながら検討する」という答弁でした。デジタルに弱い方を見捨てる構想から手を引けと訴えました。

### 議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、3月上旬に開催(予定)します。

☎ 議会事務局 ☎ 34・2119

# 議会だより

## 令和3年 第4回定例会

発行 田原本町議会  
編集 議会編集委員会

令和3年田原本町議会「第4回定例会」が12月3日から13日まで11日間の日程で開かれました。開会日には森町長が新型コロナウイルス対応に係る補正予算等の議案について説明。会期中、各議案について慎重に審議が行われました。

### 議案概要

#### 《報告を受けた案件》

○令和2年度田原本町健全化判断比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当該年度の健全化判断比率の財政4指標について、実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字で該当せず、また実質公債費比率9.7%（前年度対比0.7ポイント上昇）、将来負担比率56.0%（同23.7ポイント低下）であり、いずれも早期健全化基準を下回っていることを報告するもの。

○令和2年度田原本町資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当該年度の水道事業会計及び下水道事業会計に関わる資金不足は生じておらず、経営健全化基準を下回っていることを報告す

るもの。

#### 《承認・可決した議案》

○令和3年度田原本町一般会計補正予算（第4号）の専決処分の報告（賛成多数）

補正予算額は2889万円の増額で、補正内容は、衛生費で新型コロナウイルスウィルスワクチン3回目接種経費。商工費で飲食店等のホームページやECサイト開設、運営を支援する補助金、独自で消費者還元策を実施した飲食店等事業者に対する補助金経費。

○令和3年度田原本町一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告（全員賛成）

補正予算額は、億3951万2000円の増額で、補正内容は、子育て世帯に対し、対象児童1人当たり5万円を支給する「子育て世帯への臨時特別給付金」の支給経費。

○令和3年度田原本町一般会計補正予算（第6号）（賛成多数）

補正予算額は1億9355万1000円の増額。主な補正内容は人事配置等に伴う人件費の減額、増額としては総務費で、町民ホール等のオゾン空気清浄機の購入、マスク着用でも顔認証を可能にするためのシステム更新、オンライン会議用のパソコン購入経費等。

民生費で、介護施設が簡易陰圧装置を設置する事業に対する補助金及び介護施設に家族面会室を整備する事業に対する補助金、ヘルスケアプロジェクト事業のマスク等の配布経費及びオンライン運動教室の実施、田原本学童保育所以外の土曜日の学童保育所開所に伴う運営費等。衛生費で、新型コロナウイルス3回目接種の実施経費、オンラインで相談業務等を実施するための環境整備、保健センターのオゾン発生装置の購入、雑がみ保管袋の配布、電動生ごみ処理機の貸出事業経費等。土木費で、通学路要安全対策箇所の町道舗装補修費。教育費で、各幼稚園・小・中学校の来訪者の検温ができるタブレット型サーマルカメラの購入、青垣生涯学習センターのオゾン空気清浄機の購入、図書館でインターネットサービス用タブレット購入費用。

繰越明許費補正は、補正予算に伴う道路維持建設事業の舗装修繕工事について、令和4年度に繰り越すもの。債務負担行為の補正は、令和3年及び令和4年の2年間のこどもの健康育

#### 《可決した意見書》

コロナ禍による米価下落対策を求める意見書（賛成多数）	吉田容工議員提出
子どもの歯の矯正治療に保険適用を求める意見書（賛成多数）	岡本充弘議員提出

#### 《否決した意見書》

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（賛成少数）	議会運営委員会提出
---	-----------

#### 《可決した決議書》

児童・生徒の通学路の安全対策の強化を求める決議（全員賛成）	古立憲昭議員提出
-------------------------------	----------

成事業委託料で275万円を限度額と定めるもの。

地方債補正は道路新設改良事業及び道路維持建設事業を追加するもの。

○令和3年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）

補正予算額は30万8000円の増額で、補正内容は人事配置等に伴う人件費の減額。増額としては、令和2年度国民健康保険保険者努力支援交付金の事業費分の確定に伴う返還金。

○令和3年度田原本町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）

補正予算額は214万7000円の減額で、補正内容は人事配置等に伴う人件費。

○令和3年度田原本町介護保険特別  
会計補正予算(第2号)(全員賛成)  
補正予算額は640万1000円の増額で、補正内容は人事配置等に伴う人件費。

○令和3年度田原本町水道事業会計  
補正予算(第2号)(賛成多数)

収益的支出の補正予算額は、4946万9000円の増額で、補正内容は、人事配置等に伴う人件費並びに西竹田浄水場用地の一部を田原本町へ移管するための償却費。

資本的支出の補正予算額は、436万9000円の増額で、補正内容は、人事配置等に伴う人件費。

○田原本町企業版ふるさと納税基金  
条例(全員賛成)

企業版ふるさと納税制度により受け入れる寄附金を後年度の事業費の財源とするため、基金を設置するもの。

○田原本町水道事業の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例(全員賛成)

磯城郡水道企業団の設立による田原本町水道事業の廃止に伴い、田原本町水道事業の設置等に関する条例及び関係条例を廃止するとともに、関係する田原本町債権管理条例の一部を改正するもの。

○田原本町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正

する条例(全員賛成)

内閣府令の公布に伴い、書面等の作成や保存等について、電磁的記録による対応も可能とすることや、保護者への説明等に加えて同意の取得についても書面等で行うものについて、電磁的方法による対応も可能とする等の改正を行うもの。

○田原本町国民健康保険条例の一部を改正する条例(全員賛成)

健康保険法施行令等の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額及び保険者が認めるときの加算額の改正を行うもの。

○財産の取得について(賛成多数)

食品資源発酵分解装置を、取得金額1027万4000円で、NTTビジネスソリューションズ株式会社奈良ビジネス営業部(奈良市)より取得するもの。

○奈良広域水質検査センター組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について(全員賛成)

川西町、三宅町及び田原本町を奈良広域水質検査センター組合から脱退させ、これらの町をもつて設置される磯城郡水道企業団を加入させること及び同組合の規約を変更するもの。

《同意した人事案件》

○監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

植田 昌孝 議長

今期定例会は、一般選挙後、最初の定例会でありました。会議では、21の案件を審議し、委員会も新たな体制でのスタートとなり、活発な議論、慎重な審査が行われました。また、新任議員を含む8名の議員が一般質問を行いました。

10月7日の幸町交差点での事故を受け、議員提案で「児童・生徒の通学路の安全対策の強化を求める決議」が提出され、全員賛成で可決されました。少子化が進行する本町の状況を踏まえ、小中学校施設の再配置に係る検討を行うため「田原本町小中学校施設再配置検討特別委員会」を設置いたしました。

岡本 充弘 議員

9月の当選後、初めての定例会で大変緊張したこともあり、なかなかはっきりとした質疑になっていたかという疑問点は残りますが、今回

氏名 米田隆史氏

任期 令和3年12月19日から  
令和7年12月18日

○固定資産評価審査委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて

氏名 山口利昭氏

任期 令和3年12月24日から  
令和6年12月23日

○教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて

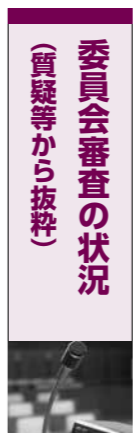
氏名 山田育弘氏

任期 令和3年12月24日から  
令和7年12月23日

《選挙した人事案件》

○磯城郡水道企業団議会議員選挙について(敬称略)

氏名 植田昌孝、吉田容工、  
竹邑利文



《総務文教委員会》

質問 田原本町企業版ふるさと納税基金条例について、現段階でどれくらいの企業数、寄附額を予定しているか。

回答 令和5年度末に設置予定のコミュニティFM放送局について、積

れた議案の審査を行いました。

一般会計補正予算では、新型コロナウイルスウィルスワクチンの3回目の接種に要する経費が計上されており、満18歳以上の2回目接種後8カ月を経過した人を対象に1月中旬頃から実施する予定となっています。

また、感染予防対策として、機器の購入などの経費が計上されています。感染拡大が懸念され、引き続き対策を進める必要があります。なお、ワクチン接種が順調に進むよう求めました。

梅谷 裕規 議員

当選後初の定例会で4つの一般質問をしました。①町議会議員選挙時に選挙公報を発行し併せてホームページへ掲載(投票者を選ぶ情報不足)②自治会活動の課題解決と新任自治会長へのセミナー開催(加入率

の低下、役員のなり手不足などの課題と役員任期1〜2年による不安)③交通安全運動の積極的な取り組みと曇りにくいカーブミラーの設置(町の人口当たり事故件数が県内でワースト5。早朝カーブミラーが曇り危険)④町文化祭の活性化(来場者を増やし出演者・出品者のモチベーションを上げる施策)

町から前向きな答弁を得ました。

み立てを検討している。信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫が実施している「SCBふるさと応援団」による企業版ふるさと納税の対象事業の募集があり、申請を行ったもので、採択されれば基金へ1000万円程度積み立てを予定している。

《厚生建設委員会》

質問 財産の取得(食品資源発酵分解装置)について、なぜ一次発酵までの処理機を選定したのか。

回答 二次、三次発酵できる処理機は発酵物の取り出し等に人件費がかかるほか、堆肥の保管場所の確保や管理が必要になる。また、保管場所における臭いの問題や、分配等にシヨベルカーなどの車両も必要になることから一次発酵までの処理機とした。

《特別委員会の設置について》

小中学校施設の再配置に係る検討を行うため「田原本町小中学校施設再配置検討特別委員会」(委員7名)が12月13日に設置されました。

「田原本町小中学校施設再配置検討特別委員会」(敬称略)

委員長 西川六男

副委員長 安田喜代一

委員 吉田容工、古立憲昭、  
梶木裕文、梅谷裕規、  
持田尚頭

平田 昌隆 議員

9月に当選後初の定例会(第4回)に出席し、各議員の白熱な議論に、私も緊張した面持ちで審議に参加いたしました。

総務文教委員会では、①田原本町企業版ふるさと納税基金条例について、現段階で寄附に参加する企業数寄附額の目標等について質問。②公共施設(東幼稚園)の活用を前提とした子育て施設の整備については、施設の老朽化対策についてどの様に行うのか質問し、いずれも納得の答弁を得ました。今後も、しっかりとチェックしてまいります。

藤井 誠人 議員

今を生きる責任と、未来を担う子どもたちの為に、脱炭素社会の実現に向けた田原本町の方針について一般質問。再生可能エネルギーと地域の関わりは地産地消が基本であり、地域新電力会社設置に向けた可能性に加えて、防災・減災といった様々な行政課題を解決する方策と「経済と環境の好循環」を作っていく産業政策であるグリーン成長戦略を視野に入れた分野横断的な取組の推進を提案。地域新電力等の活用を検討していく必要があると回答。

安心・安全で誰もが希望を見いだせ